

障害あっても旅行快適

年齢や障害の有無にかかわらず誰にでも旅行を楽しんでもらおうと、ユニバーサルデザイン(UD)を理念とした旅行会社「旅のよろこび」が熊本市飛田に設立された。

代表の宮川和夫さん(四三)熊本市、写真は東京と熊本で計十五年間、旅行会社に勤務。一般の旅行だけでなく、車いす利用者や介護が必要な人、高齢者などを対象にした国内外への旅行の企画や添乗の経験がある。勤務していた会社が解

ツアーに介護者同行

散したため、別の仕事に就いていたが、「障害者の旅行に添乗した時の笑顔や喜



びの声が忘れられず」に退職し、旅行会社を設立した。旅行の企画には福祉施設

の職員、障害者らで組織した運営アドバイザー会が協力。熊本機能病院の米満弘之理事長も同社の特別顧問を務める。趣旨に賛同した

介護福祉士や社会福祉士、看護師、ホームヘルパーら約四十人が介護ボランティアとして登録しており、旅行に同行する。

初回は一月六日、太宰府天満宮に日帰りの初もうでに行く。募集定員は三十

人で、宮川代表のほか五人の介護ボランティアが同行する。このほか一月は、十九日に天草への日帰り旅行、二十八日から一泊二日で下関にフグ会席を食べに行くツアーを予定している。

宮川代表は「障害者だけを対象とした旅行ではないので健常者にも参加してもらい、参加者同士の触れ合いを楽しんでほしい」と話している。

旅のよろこび社の電話は096(345)0811。(中原克也)

熊本市の
宮川さんの
UD理念の会社設立